

浪江町の被害

人的被害等

3月11日に浪江町を襲った地震は震度6強。これにより家屋等の倒壊および損壊被害が発生し、その後、襲来した大津波によって請戸川の河口付近の低地帯に甚大な被害をもたらしました。

この災害による浪江町の人的被害は、直接死182人、このうち行方不明者が31人、圧迫死が1人となっています。津波による溺死は150人と、死因のほとんどが津波によるものです。なお、震災による関連死は、2020（令和2）年12月までに441人となっています。（資料／2020〔令和2〕年12月7日：福島県災害対策本部）

■東日本大震災による浪江町の人的被害

（2020〔令和2〕年12月7日）

東日本大震災による直接死		182人
内訳	溺死	150人
	行方不明者（※）	31人
	圧迫死	1人
東日本大震災および原発事故による関連死		441人

※戸籍法第86条第3項による行方不明者の死亡届

（資料／浪江町災害対策本部）

■津波による死者、行方不明者

（2015〔平成27〕年10月6日現在）単位：人

地区	大字	津波が原因による死亡	行方不明者	合計（参考）
請戸地区	請戸	95	24	119
	中浜	13	1	14
	両竹	19	2	21
	小計	127	27	154
その他	棚塩	11	2	13
	北幾世橋	4		4
	権現堂	3		3
	牛渡	1		1
	立野	3	1	4
	田尻		1	1
	小丸	1		1
	小計	23	4	27
	合計	150	31	181

※家屋倒壊による圧死者1人、心臓発作による死亡者1人を含む

（資料／浪江町災害対策本部）



【権現堂地区】（2011〔平成23〕年3月12日撮影）
2階屋根が崩れ落ち、道路を覆っている。



【権現堂地区】（2011〔平成23〕年3月12日撮影）
家屋の倒壊により街灯が傾き、道路へ屋根が崩れ落ちている。



（2011〔平成23〕年3月28日撮影）
時が止まった国道114号



（2011〔平成23〕年3月28日撮影）
地震により倒壊した町案内看板

浸水被害

福島県の沿岸部10市町の浸水域は、可住地面積の13.5%と広域エリアで浸水がありました。

浪江町の可住地面積に対する浸水域面積割合は9.5%、人口に対する浸水域人口割合は16.1%、浸水した事業所は22.0%におよびました。

(資料／総務省統計局)

■浪江町の浸水事業所数・従業者数

市町名	浸水範囲概況にかかる事業所数および従業者数 (a)		当該市区町村の事業所数および従業者数 (b)		浸水範囲概況の割合 (%) (a) ÷ (b) × 100	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
浪江町	250	2,387	1,136	8,323	22.0	28.7

■福島県沿岸部の浸水域の面積

(2011[平成 23]年 4 月 25 日公表)

市町名	総面積 (km)	可住地面積 (km)	浸水面積 (km)	総面積に対する浸水域面積割合 (%)	可住地面積に対する浸水域面積割合 (%)
新地町	46	29	11	23.9	37.9
相馬市	198	91	29	14.6	31.9
南相馬市	399	182	39	9.8	21.4
浪江町	223	63	6	2.7	9.5
双葉町	51	21	3	5.9	14.3
大熊町	79	29	2	2.5	6.9
富岡町	68	27	1	1.5	3.7
楢葉町	103	25	3	2.9	12.0
広野町	58	15	2	3.4	13.3
いわき市	1,231	341	15	1.2	4.4
計	2,456	823	111	4.5	13.5

■福島県沿岸部の浸水域人口および世帯数

(2011[平成 23]年 4 月 25 日公表)

市町名	人口 (人)	世帯数 (世帯)	浸水域にかかる人口 (人)	浸水域にかかる世帯数 (世帯)	人口に対する浸水域人口割合 (%)
新地町	8,218	2,461	4,666	1,400	56.8
相馬市	37,796	13,240	10,436	3,076	27.6
南相馬市	70,895	23,643	13,377	3,720	18.9
浪江町	20,908	7,171	3,356	1,006	16.1
双葉町	6,932	2,393	1,278	402	18.4
大熊町	11,511	3,955	1,127	359	9.8
富岡町	15,996	6,141	1,401	552	8.8
楢葉町	7,701	2,576	1,746	543	22.7
広野町	5,418	1,810	1,385	444	25.6
いわき市	342,198	128,516	32,520	11,345	9.5
計	527,573	191,906	71,292	22,847	13.5



【両竹地区】(2011[平成23]年4月16日撮影)
津波によって家屋や車等が流され瓦礫となって山積みしている。



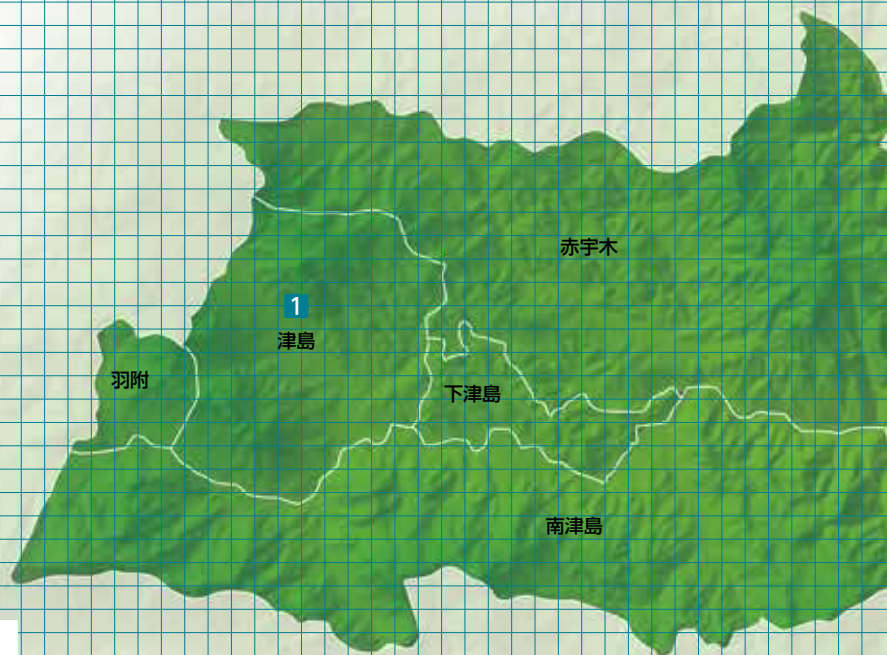
【請戸地区】(2011[平成23]年5月27日撮影)
津波によって多くの家屋が流失している。

原発事故の長期避難に伴う住宅損壊被害

浪江町は原発事故による警戒区域に指定されたため全町避難を余儀なくされました。一部損壊した住家は、長期にわたり町内への立ち入りが制限されたため動物の侵入に見舞われ、多くの住宅が損傷しました。2020(令和2)年10月末時点の浪江町における被災家屋等の解体進捗状況は、解体済が4,122件(内、特定復興再生拠点区域204件)となっています。

(資料／環境省・データでみる福島再生)

各地区の被災状況



1 津島地内



2 末森地内



3 権現堂地内



沿岸部 6 km²が浸水、全壊家屋 651 戸の被害

東日本大震災の地震と津波の影響によって町の風景は一変しました。特に沿岸部では推定15.5mの大津波によって約6km²が浸水、全壊家屋651戸（流失586戸・地震65戸）が被災するという未曾有の事態に陥りました。浸水面積が広いため被害が拡大し、推定28.9万tもの災害廃棄物が発生しました。内陸部でも震度6強の揺れによって家屋等が倒壊。また、原発事故による全町避難によって、家畜やペットが放置されるなど、沿岸部、住宅街、山間部で状況は異なるものの、町全体に深刻な被害をもたらしました。

4 北幾世橋地内



5 請戸地内



6 請戸地内



7 請戸地内



